

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名		医療事故情報収集等事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成16年度～		担当課室	総務課 医療安全推進室		室長:宮本哲也		
会計区分		一般会計		施策名	IV-1-4 医療安全確保対策を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	厚生労働省発医政0703第8号「医療施設運営費等補助金、中毒情報基盤整備事業費補助金及び第三者病院機能評価支援事業費補助金の国庫補助について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		医療事故の発生予防・再発防止のためには、医療機関の報告に加え、医療関係団体等、医療安全に資する情報を収集し、これらを総合的に分析・検討した上で、その結果を広く提供する必要があることから、中立な第三者機関において医療機関自らが分析・検討をした情報を収集し、さらに分析を加えたうえで情報提供を行うとともに、医療機関からの相談に応じて必要な助言・支援を行うこと							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		運営委員会、専門家部門、検討委員会、事務局を設置し、医療事故情報の収集・分析・提供を行う。具体的には下記。 ・医療機関における医療事故情報の収集・分析・提供 ・医療機関におけるヒヤリ・ハット事例情報の収集・分析提供 ・医療機関に対する助言・支援 ・医療安全に関する研修及び専門家の養成、医療機関における「医療安全緊急情報」の発進、本事業に関する普及啓発							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算	122	170	98	88	90	
			補正予算						
			繰越し等						
			計	122	170	98	88	90	
		執行額	122	170	98				
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		医療事故情報収集等事業報告書の作成 医療事故情報収集等事業年報の作成 医療安全情報の発信		成果実績		報告書の作成等	報告書の作成等	報告書の作成等	
		達成度	%	100	100	100			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		報告義務対象医療機関及び参加登録申請医療機関からの医療事故事案の報告件数		活動実績 (当初見込み)		1,563	2,064	2,703	—
						(2,064)	(2,703)		
単位当たりコスト		36,148(円/件)		算出根拠	97,708千円÷報告件数2,703件=36,148円				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	医療施設運営費等補助金	88	90						
	計	88	90						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>当該事業は、医療事故の発生予防及び再発防止を促進することを目的として、医療事故情報及びヒヤリ・ハット事例情報の収集・分析・提供を行っている。分析結果は報告書、年報及び医療事故情報としてとりまとめ、広く社会に向けて公表している。</p> <p>平成22年12月31日における医療事故情報の参加登録申請医療機関数は578施設であり、前年の同時期と比べ、151施設増加している。また平成22年(1月～12月)の医療事故の報告件数は、2,703件(報告義務対象医療機関272施設分を含む。)と前年に比べ、639件増加している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業については平成23年度においても予算の縮減が図られているところであり、事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、補助先を含め引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>引き続き効率的な執行に努める。</p> <p>一方で、医療事故等事案の報告件数は年々増加していることから、これに伴う業務量の増加に対応するため、平成24年度概算要求においては、体制の強化充実を図ることとしている。</p>			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省
98百万円

【補助】

A. (財)日本医療機能評価機構
98百万円

業務内容は事業概要に記載

【随意契約】

B. 株式会社 (4)
32百万円

システム保守・機器保守運用、英文への翻訳業務、印刷物発送業務など

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.(財)日本医療機能評価機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
給与費	医師、看護師等従事職員の給与	35			
雑役務費	派遣職員、システム保守、報告書作成ほか	31			
賃借料	事務所借料、機器等借料ほか	10			
通信運搬費	回線使用料、報告書発送ほか	7			
印刷製本費	報告書印刷ほか	5			
諸謝金	専門部会出席委員への支払ほか	4			
その他	旅費、消耗品費ほか	6			
計		98	計		0
B.富士通(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	システム改修、データ移行等作業工賃	17			
計		17	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本医療機能評価機構	事業概要に同じ	98	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通(株)	システム保守、機器保守、データ管理、英訳検索システム追加	17	随意契約	-
2	(株)ディーズラボ	医療安全情報印刷、年報英訳版の印刷業務 発送業務	7	随意契約	-
3	(株)スタッフサービス	庶務事務の派遣	4	随意契約	-
4	株式会社杏林舎	年報、報告書の印刷	4	随意契約	-
5					
6					
7					
8					
9					
10					